

2018年7月2日 コンプライアンス遵守って、何？

※一言要約： コンプライアンス遵守とは、悪いことをしなければいいだけ。

コンプライアンス「Compliance」とは英語で「命令・要求に従うこと」という意味です。

最近では、「法令遵守」に加えて「企業倫理を遵守すること」という意味で使われることが多いです。

マスコミでは、コンプライアンス違反であるとか、コンプライアンス体制がどうだとか、よく聞くようになってきました。

…とはいっても、カタカナ語で判った様な、判らない様な、具体的には何なのか？何をすればいいのか？となってしまいます。

結論としては「法律違反だけでなく、道徳的にも悪いことをしなければいい」というだけの話です。道徳は時代とともに変化しますが…………

最近では会社・企業の不祥事に対して、社会の目が厳しくなっています。また、IT や SNS の環境が整い、昔は知らされ（公開され）なかったことも、今では情報が安易に公開されるようになってきております。

たとえ従業員が何万人いる会社でも、たった1人の従業員が起こした不祥事により、経営が、商売が困難になる、会社の信用を失墜する、そのような危険性が大きくなってきています。そういった危険性を経営陣が感じているから、従業員に「コンプライアンス」を徹底させるよう取り組んでいるのです。会社の規模が大きければ大きいほど。

しかし、会社の規模が小さい、中小企業であってもその不祥事に対しては、社会の目は例外なく、厳しくなっています。たった1人の従業員が起こした不祥事でも、会社の責任（そんな会社である）と認識され、そんな会社との取引はリスクがある、辞めよう、「もうあそこの商品は買わない！」ってことになりかねません。つまり、会社の信用に直結しているのです。

ですから、「悪いことはしない」という会社であり、従業員にも共鳴・協働してもらうことが必要であるのです。